

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
E140A007	学校教育におけるICT活用(ICT utilization of school education)											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択必修	2	2・3・4	教育学部			氏名 市原靖士, 中原久志, 杉山昇太郎 E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp(中原) 内線 7590(中原)						
授業の概要	本講義では、ICT活用に関する実践的指導力を身に付けることを目的とし、学校現場におけるICTの実態(タブレット端末、電子黒板、デジタル教科書等)を踏まえ、児童・生徒の情意を喚起するICT活用の方法や各教科の特性に応じた活用方法について概観し、試行的な授業づくりを通して「学びを深めるICT活用」を考察する。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1 2 3 4 5 6 7 8 9 10					
目標1	教育現場におけるICT活用について基礎的な知識・技能を習得する											
目標2	教材制作実習を通して実践的指導力を身につける											
目標3												
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	オリエンテーション(担当:中原)											
2	ICT活用教育の考え方(担当:中原)											
3	ICT機器の特徴と効果的な使用方法(担当:中原)											
4	ICTを活用した授業実践の事例検討(担当:中原)											
5	教科・単元に応じたICT活用(担当:中原)											
6	ICT教材に必要な要件の検討、活動システムモデルとICT活用形態(担当:中原)											
7	校務処理システム:マクロVBA(担当:杉山)											
8	プレゼンテーションソフトの活用(担当:杉山)											
9	プレゼンテーションソフトを用いた教材開発実習:構想(担当:杉山)											
10	プレゼンテーションソフトを用いた教材開発実習:作成(担当:杉山)											
11	開発した教材を用いたマイクロティーチング(1)(担当:市原)											
12	開発した教材を用いたマイクロティーチング(2)(担当:市原)											
13	教材の相互評価と改善(担当:市原)											
14	SNSと情報モラル教育(担当:市原)											
15	学校におけるセキュリティとアダプティブラーニング(担当:中原)											
ラ ー ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	実技, ディスカッション, 評価				工 夫	そ の 他 の					
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	事前配布資料を熟読する【15H】										
	事後学修	課題レポートを作成する【15H】										
教科書	随時プリント資料を配付する											
参考書	文部科学省:教育の情報化, http://jouhouka.mext.go.jp/											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	学習への取り組み状況	20%										
	製作物	40%										
	定期考査	40%										
注意事項	受講制限:20名											
備考												
リンク	URL											